** 2021年6月（第4版）
＊ 2013年4月17日（第3版）

届出番号 07B2X00007000009

機械器具 26 医療用遠心ちんでん器
一般医療機器 汎用検査室用遠心機 JMDN 36465000

小型微量遠心機 PMC-060T

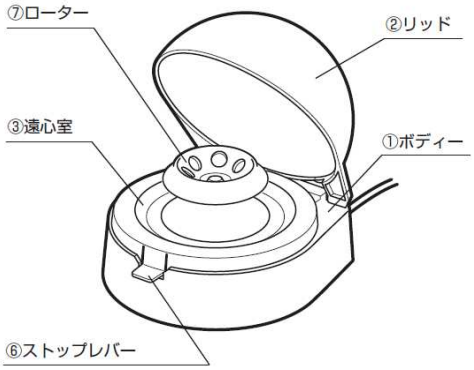
【禁忌・禁止】

- ローターの回転中はリッドを上げないこと。[誤って回転中のローターに触れると重傷事故の原因になり危険です]
- 爆発性の試料を遠心しないこと。[本機は防爆仕様ではありません。本機の破損により死亡事故や重傷事故の原因となり危険です]
- 感染性のある試料を遠心しないこと。[本機はバイオハザード対策仕様ではありません。感染性の試料を使用した場合、人体に重大な影響をおよぼす原因となり危険です]

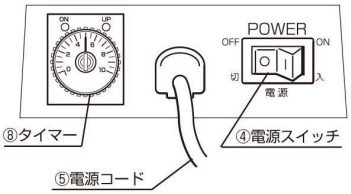
【形状・構造及び原理等】

≪本体外観図≫

本機



本機背面



詳細は、取扱説明書の「2-2.各部の名称と働き」を参照してください。

≪本体の寸法及び質量≫

- 外形寸法：155W×175D×125H（mm）
- 質量：1.1 kg

≪電気的定格≫

＊

- 定格電流：80mA ＊
- 必要な電源：単相 AC 100V（50/60Hz）15A

≪作動・動作原理≫

運転を始めるとモーターが動き、ローターを回転・加速します。ローターの回転が所定回転数まで到達すると、回転数を維持します。このとき発生する遠心力で試料が分離されます。
ストップレバーを押すと、モーターを減速します。ローターの回転が停止すると全工程が完了となります。
装置に異常が発生すると、より安全な状態に移る動作をします。

** **≪仕様≫**

1) 定常回転数 6200rpm（±20%）
2) 遠心加速度 1,210～2,790G
3) タイマー設定範囲 0.5～10分

【使用目的又は効果】

遠心力を応用して懸濁液の成分を分離するために用いる。
体液等の試料を単独か、又は分析物の測定前に試薬や他の添加物を添加した後に遠心分離することを目的とする。

【使用方法等】

≪設置方法≫

詳細は取扱説明書の「3.設置について」を参照してください。

直射日光の当たらない風通しの良い場所を選び、十分なスペースを空けて設置する。

≪使用環境≫

本機を使用する際には、下記の環境をお守りください。
周囲温度：5～35℃
相対湿度：30～85%（結露状態を除く）
気圧：700～1060 hPa

≪使用方法≫

詳細は取扱説明書の「4.操作の流れについて」及び「5.操作方法について」を参照してください。

① 電源スイッチ「入」
② 遠心試料の準備
③ 遠心試料の取り付け
④ 運転開始
⑤ 運転終了
⑥ 遠心試料の取り出し
⑦ 電源スイッチ「切」

取扱説明書を必ずご参照下さい。

【使用上の注意】

詳細は取扱説明書の「１.安全にお使いいただくために」を参照してください。

1. 遠心試料の準備
- 傷、変形、腐食がある遠心チューブを使用しないこと。
- 遠心チューブの許容遠心加速度を確認すること。
- 試料の量は使用チューブの容量70%以下で使用すること。
- 遠心チューブにはキャップを使用すること。

2. 遠心試料の取り付け
- ローター本体、および遠心室内に異物がないことを確認すること。
- チューブ、試料の取り付けはバランスをとること。

**【保管方法及び有効期間等】

耐用期間５年［自己認証(当社データ)による］

【保守・点検に係る事項】

≪使用者による保守点検事項≫

詳細は取扱説明書の「７.保守点検について」を参照してください。

1. 本体の清掃と消毒
   本体外装や遠心室内が汚れたら、清掃、消毒を行なう。
2. ローターの清掃と消毒
   ローターが汚れたら、清掃、消毒を行なう。
3. 一ヶ月ごとに行なう保守点検
   一ヶ月を目安として、本機各部の清掃と点検を行なう。
4. 遠心機械の定期自主検査
   一年以内ごとに一回、労働安全衛生規則に定められた自主検査を行なう。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元：トミー工業株式会社
住　所　：福島県石川郡浅川町大字簑輪字山敷田 62
電話番号：0247－36－3160

製　造　元：トミー工業株式会社
住　所　：東京都練馬区田柄 3－14－17
電話番号：03－5987－3350

販売業者の連絡先